

株式会社 ヒノキヤグループ

2021年9月8日

報道関係各位

## 24時間オート加湿システム『極楽加湿』発売 乾燥が気になる季節に『Z空調』との併用で家中の加湿を実現



(株)ヒノキヤグループ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長 近藤昭 以下、ヒノキヤグループ）は、24時間オート加湿システム『極楽加湿』を開発し、2021年9月より発売を開始します。

『極楽加湿』は壁付けの専用給水コンセントに加湿器をつなぎ、スイッチを入れるだけで給水されるため、面倒な給水作業がありません。また、室内の湿度を感じた自動運転で、こまめな操作も不要です。一年中快適で経済的な新冷暖システム『Z空調』と併用することで、基本的には1フロアにつき1台で家中を加湿することができます。

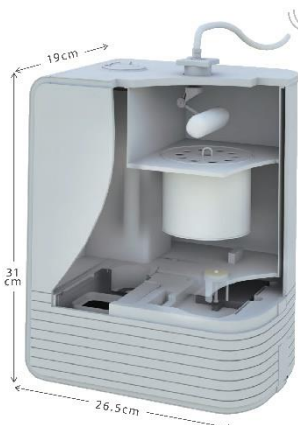
“夏暑くて、冬寒い”という日本の家の常識を変える『Z空調』を開発したヒノキヤグループだからこそ実現した新たな発想で、お客様のより良い生活のサポートをするため、住宅会社ならではのオリジナル加湿システムを提案します。

### ■給水の手間がない、自動給水機能（特許出願中 特願 2020-137415）

従来の家庭用加湿器はユーザーが水道から専用のタンク等へ水を入れる給水作業が必要で、乾燥が厳しいシーズンには1日に何度も設置台数の数だけ、その手間がかかります。しかし『極楽加湿』は、専用開発した壁付けの給水コンセントに加湿器本体のホースをつなぎ、スイッチを入れるだけで給水ができるので煩わしい給水作業はありません。給水コンセントは給水量が約30~50ml/sと少量のため、万が一ホースが外れても水が勢いよく出ることはありません。また、加湿器本体に制御装置があり、タンク内に一定量の水が溜まると給水が止まります。



### ■高機能でコンパクトな加湿器本体



加湿器本体は、ヒーターで水を温め噴霧する「加熱式」と超音波で水を細かく砕き霧状にする「超音波式」を組み合わせたハイブリッド加湿を採用。タンクの軟水フィルターカートリッジは、水道水のカルキやカルシウム、マグネシウムなどを吸収除去し、ヒーターが白く結晶化するのを防ぎます。銀イオンカートリッジも搭載されており、プラスイオンの効果でタンク内の水を除菌し、雑菌やウイルスの繁殖を防ぎます。

コンパクトサイズの本体は、設置スペースを取らず、コンセント式なので使用しないシーズンは取り外して収納も便利です。

本体サイズ：幅19×奥行26.5×高さ31（cm）

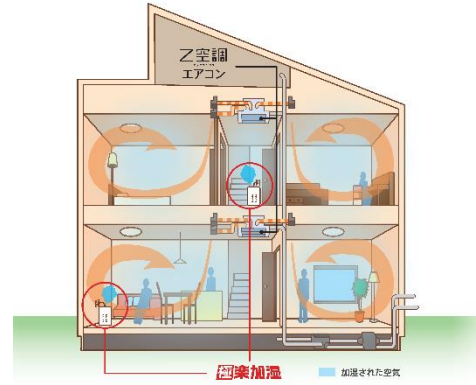
基本機能：タイマー、湿度設定、加湿量設定など

加湿器本体発売元：アルファックス・コイズミ株式会社

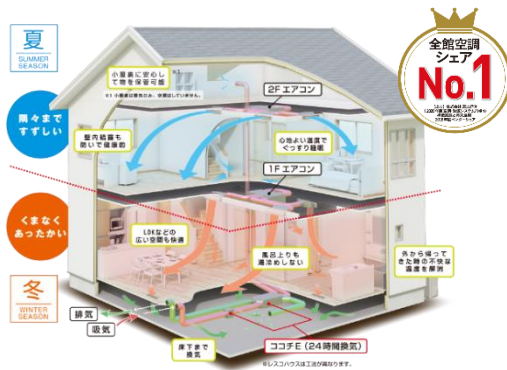
■ 『Z空調』と併用で、家中まるごと加湿 (特許出願中 特願 2020-138183)

家中すみずみまで空調する『Z空調』と併用し、1フロアに加湿器本体1台で各部屋の加湿が可能です。『極楽加湿』を搭載した二階建て住宅の実験では、真冬の乾燥した日でも各部屋の湿度は快適な室内湿度といわれる40~60%を保ち、快適な空間が実現していることが実証されました。

同じく1棟当たり(加湿器本体2台)の電気代をシミュレーションしたところ、24時間つけっ放しでも月額3,780円となり、部屋ごとに加湿器を設置した場合に比べて経済的な結果となりました。



■ 『Z空調』概要



『Z空調』は、ヒノキヤグループの連結子会社(株)日本アクア (<https://www.n-aqua.jp/>) が提供する断熱材『アクアフォーム』で建物の断熱・気密を高め、空調をダイキン工業(株)、換気を協立エアテック(株)が担うことで実現した、快適で経済的な新冷暖システムです。独自技術により従来の全館空調の導入コストを大幅に下回る販売価格と壁掛けルームエアコン同等の電気代を実現した冷暖システムです。24時間365日、家中どこでも快適な温度を維持することができ、導入されたお客様からも非常に高い評価をいただいています。2016

年12月に発売を開始し、2017年には特許を取得。2017年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)も受賞しました。2021年6月末時点で、発売開始より累計受注棟数は16,000棟を突破しました。

【会社概要】

株式会社 ヒノキヤグループ

- 代表 : 代表取締役社長 近藤 昭
- 本社 : 東京都千代田区丸の内1-8-3丸の内トラストタワー本館7階
- ホームページ : <https://www.hinokiya-group.jp/>
- 事業内容 : 住宅事業、断熱材事業、不動産投資事業、リフォーム事業、介護保育事業